

箱根町議会議員

佐藤章子の 町政レポート



2022年6月1日発行 No.2

発行 さとう章子と希望の会

〒250-0631

足柄下郡箱根町仙石原 1246

E-mail: hopedreamhakone@gmail.com

さとう章子と希望の会



コロナ禍で3年目を迎えましたが、皆様方には如何お過ごしでしょうか？
ワクチン接種3回目が終了した方も多くなって、これからは少しずつ元の生活に戻れると
思った矢先の「ロシア・ウクライナ侵略」という、考えてもみなかった「悲惨な戦争」が始まり、
個人のエゴイズムがまかり通っている現実には言葉ありません。

戦争絶対反対と一日も早い収束を願って止みません。

皆様のご支援で箱根町々議会に送って頂き、早、半年が過ぎました。3月には令和4年度
に向けて予算質問のほか、一般質問を致しました。箱根町を知ることにより将来に向け課題の
多さに気がつくと思いますが、問題解決に向け今後も真摯に取り組んでまいります。

3月 議会

定例会にて予算質疑、一般質問を行ないました。

仙石原すすき草原保全事業について —令和4年度予算質疑にて

- Q1** 町の重要な観光資源である仙石原すすき草原の景観保全や観光客の受け入れ態勢の整備等について、令和4年度の予算構成は？
- A1** 予算構成については、①山焼きに関わる費用、②9月~11月のシーズン中の観光客の受け入れ態勢の整備に関わる費用、③遊歩道の補修に関わる費用に関する予算となっており、総額で956万2千円である。
- Q2** すすき草原は年間を通じて観光客の受け入れ態勢に多額な出費がかさんでいると思われるが、自然保護協力金等の名目で入場料徴収の考えはないか？
- A2** 現在、箱根町自然保全基金などのトラスト基金があり、ふるさと納税も含め当該寄付金の活用が見込めることで新規の協力金は見送っている。



箱根ブランド力アップ・施政方針について

Q1 町長所信表明や、第6次総合計画、施政方針にもブランド力アップをうたっているが、今後の具体的な方法は？

A1 (町長) 行政側の役割は箱根にお越しになる方々の受入れ環境整備の実施や、付加価値を高める努力をする事業者の後押しができるよう支援等を実施していくことであり、その方法として…1 スマートエネルギー導入事業、2 中小企業等設備投資促進事業、3 住みたいまち箱根推進事業の導入。

ブランド力アップは一朝一夕にはならず、民間と行政が連携しながら様々な資源やコンテンツについて付加価値を高めることで、オンリーワンの観光地を目指して参りたいと考えている。

Q2 職員一丸となって「意欲・スピード・町民に寄り添う気持ち」とあるが、この方針をどのように各課に浸透、実行可能にしていくのか？

A2 (町長) 町議（会）や各種本部会議、部課長会議等で私の考えを説明し、職員の柔軟な発想を求め、果敢なチャレンジ精神、積極的に取り組むことを促す。

令和4年度予算では、シェアタウン事業や人材確保支援事業などには職員の創意工夫により予算化した事業もあり、私の期待に応えて取り組んでくれているが、今後も積極的に取り組んでいく。

活動紹介

* 町道路線認定

仙石原線 215 号を視察しました。金太郎ラインの開通に伴い、県道から町道へ県からの払い下げですが、維持管理費が発生します。



* ケンペル・バーニー祭 参加

主催：箱根を守る会主催

記念講演：伊豆諸島の花の魅力

講師：石橋正行先生

美しく、可憐な高山植物のお話でした。
箱根の自然に関心を寄せて下さい。



* 「全国地方議会サミット2022」に zoom 参加

議会改革を成功させている地方議会の努力や研鑽に感銘！
全国各地で議会改革が進んでいます。



本年、マニフェスト大賞は、**取手市議会**でした。
議会改革に真摯に取り組んでおられた結果ですね。

👉 基調講演中の牧島かれん・デジタル大臣